

健康長寿で 「寿」かリーさびら

今年度、市内では131名がカジマヤー、26名が100歳を迎えました。敬老の日には、松本市長がカジマヤー（数え年97歳）を迎える方々のお宅を慶祝訪問しました。

それぞれの自宅では、長寿を祝おうと家族が勢揃いし、にぎやかな敬老の日を迎えました。

棚原 千代さん(カジマヤー)



長寿の秘訣 毎日楽しく過ごすこと！

新里 光枝さん(カジマヤー)



長寿の秘訣 毎日欠かさず、日記を書いています

大城 八重子さん(カジマヤー)



長寿の秘訣 運動をして、好きなものを食べる



9/5 学生のアイデアでまつりを盛り上げる！

「てだこポケットフェスタ～第48回浦添てだこまつり～」の開催に向け、市内にある専修学校インターナショナルデザインアカデミーの学生が考えた、タオルデザインのWEB投票が行われました。その中から比嘉椿さんのデザイン(292票)が見事選ばれ、商品化されました。

制作にあたり、比嘉さんは「ラジカセ」をモチーフに制作しました。さまざまな世代に刺さるラジカセのデザインがてだこまつりを盛り上げるスピーカーとして人を集めてほしい」とコンセプトを述べました。

松本市長は「なるほど、こうきたか！僕らの世代には浮かばない発想で素晴らしい。若い感性でてだこまつりを盛り上げてほしい」と話しました。



9/5 てだこ大使とユニフォームデザインが決定！

浦添市の観光大使として新たに、(写真左から)金城心侑妃さん、佐久本真彩さん、岸本安佳理さんの3名が選ばれました。3名は、てだこまつりなどの市内イベントへの参加や、SNS等にて魅力発信などの活動を2年間担います。松本市長は「3名とも率先力が素晴らしい。浦添市を盛り上げるために、頑張ってもらいたい」と期待を寄せました。

また、てだこ大使3名のユニフォームデザインをした専修学校インターナショナルデザインアカデミーの新城美衣奈さんは「選んでいただいて、自信ができました。とても嬉しいです」と笑顔を見せました。



8/19 中国泉州市での心に残る経験を発表

友好都市である中国泉州市との小中学校交流事業の保護者発表会が行われました。市内の小中学生16人が8月3日～7日に中国へ行き、泉州市の子どもたちとの交流やホームビジット、伝統芸能鑑賞などを通して、異文化理解や両市の絆を深めました。

子どもたちは4つのグループに分かれて、4日間の中国での活動や面白かったこと、驚いたこと、学んだことなどを保護者に発表しました。各チームからは「泉州市の伝統を学校の友だちや地域の方々に伝えていきたい」「泉州市のことを好きになった」「中国で日本の文化について伝えられなかったのが勉強したい」などの感想があり、文化を知り、伝えることの大切さを学びました。



8/24 新聞から浦添の未来へGo!Go!55!

公民館で市制55周年の記念講座が行われ、市民20人が参加しました。前半は市制施行から現在までの浦添の移り変わりを振り返り、後半は事業・催し・インフラ整備・自治会などの多岐に渡る出来事を、2つのグループに分かれ哲学対話のかたちで、これからの浦添について語り合いました。参加者からは「市内のコミュニティーバスの必要性」や「建物の老朽化」、「自治会の高齢化問題」などの意見が上がり、中学生の参加者からは伝統芸能の継承について「学校で指導してもらい、運動会などで発表する機会があるのはいいこと」との声がありました。また講座に先立ち開催された「浦添の歴史パネル展」も好評で、当時を懐かしむ様子が多く見られました。

話題がいっぱい！
なかゆくい
市内各地で行われたイベントや、まちの話題をお届けします。ここで“なかゆくい”しませんか。(なかゆくい=ひと休み)
市ホームページ「うらそえトピックス」にも市内のできごとを紹介しています。



「ハワイ沖縄移民125周年記念式典」に参加してきました！



8/22 子ども議員が提案する地域の課題

中学生が議員となり、政治・行政を学ぶ「第5回 てだこ子ども議会」が行われました。公募で募った中学生ら6人が参加し、議場の見学と議会体験を通して議員の仕事学びました。子ども議員からは若い世代の政治、選挙への関心を高めることや市の魅力発信などについて、市長や教育長、指導部長へ質問や要望が出されました。水野紘太郎さん(仲西中3年)は「行ったことも見たこともなかった議場やテレビでしか見たことのなかった議長席に座れたので、とてもいい経験になりました。また、フリーディスカッションや一般質問を通して議会がどのように進行していくのかなどを聞いてよかった」と話し、次世代を担う子どもたちの貴重な経験となりました。